

## 第4次港区観光振興プラン（素案）に寄せられた区民意見について

### 1 区民意見募集（パブリックコメント）

(1) 募集期間 令和5年12月1日（金）から令和6年1月4日（木）まで

(2) 人数・件数

|         | 人数  | 件数  |
|---------|-----|-----|
| インターネット | 12人 | 22件 |
| 会議      | 3人  | 4件  |
| 郵送      | 0人  | 0件  |
| FAX     | 0人  | 0件  |
| 持参      | 0人  | 0件  |
| 合計      | 15人 | 26件 |

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

### 2 第4次港区観光振興プラン（素案）に寄せられた意見（区民意見募集（パブリックコメント））

| No | 意見  | 区分      |
|----|---|---------|
| 1  | 港区の強みである「人」を生かしてほしい。ウェルビーイング向上を目指す取組、自然エネルギーにあふれ、心理的安全性が醸成された状況こそが港区の目指すSDGsだと思う。「人」に焦点を当てた、「人的資本観光振興プラン」としての角度から検討してほしい。               | インターネット |
| 2  | 観光大使同士やMINATOシティプロモーションクルー認定事業者との連携強化によって、観光大使の活動の幅が広がるため、その機会を区でつくるべき。   | インターネット |
| 3  | 創業百年以上の老舗店の集まり（芝百年会）では、店主が中心になり、座学・歩学を定期的実施する地元人目線でのユニークな活動を実施している。リピーターが多く支援強化をお願いしたい。   | インターネット |
| 4  | 観光大使の名刺の活用として、配布者に買い物やお土産購入時の割引などの特典をつけることで、配布時の話題として有効ではないか。   | インターネット |
| 5  | 観光大使有志が定期的に行っているイラスト散歩について、新しい観光導線にもなるので、区に支援してもらいたい。   | インターネット |
| 6  | インバウンドが多く訪れる港区の観光案内所の充実とともに、産学官連携事業として区内の大学生を活用したボランティアの観光案内を実施してもらいたい。   | インターネット |
| 7  | 概要版だと具体的にどのような取組を実施するのかわからない。   | インターネット |
| 8  | ナイトタイムエコノミー推進の取組として、博物館・美術館について夜間も文化資源に触れることができるよう、夜間開館推進に向けて働きかけるべき。また、シティプロモーションでPRするなど、広報施策と連携すべき。                                   | インターネット |
| 9  | PDCAサイクルで実施とあるが、シン・トセイ（都政の構造改革）の「スピード」「オープン」「デザイン思考」「アジャイル」「見える化」の5つのキーワードで実施するプランとした方が、東京都や東京観光財団との連携に合致する。アジャイル型社会実装をしなくては時代についていけない。 | インターネット |
| 10 | 観光振興の目的は、経済面のみならず、文化や風習といった日本のマインドへの理解を通じて醸成するもの。区民・在勤者とともに、訪れる観光客が歴史や文化、風習や風土を感じて「来て良かった」と思えるような「オモテナシ」ができると良い。                        | インターネット |

| No | 意見   | 区分      |
|----|--|---------|
| 11 | 富裕層に向けた施策により、更なる訪日外国人の消費単価の上積みを狙うことも目指してはどうか。区内にはMICE誘致団体が複数あり、国際会議でのVIP向けなど、一段上のサービス・空間を区、民間企業・団体と連携することで提供できるのではないかと。国や東京都の構想や戦略においても、ナイトライフの充実が必要と位置付けられている。区で実施しているナイトタイムエコノミー補助金事業の拡充等により貢献できると考える。例えば、港区の地域特性である水辺を活用した施策(船の活用促進など)を実施するのはどうか。 | インターネット |
| 12 | 富裕層については、食・文化・自然・エネルギーといった分野に関心を示し、かつそれらがサステナブルな取組であることを評価する傾向にあるので、その点を意識したプランにするとより魅力的になる。   | インターネット |
| 13 | 区の施策等を絡めて、自社の事業計画等に生かしていくような使い方ができればと感じた。  | インターネット |
| 14 | 浜松町駅の案内地区の前で地下鉄への行き方がわからず迷っている外国人や飲食店でメニューの内容を尋ねるも話が通じずに困っている外国人をよく見かける。対策として、「観光・街区案内標識の充実によるまち歩き利便性向上」の取組と合わせて、様々な観光客の立場に立って、あらゆる案内表示を見直してはどうか。区民のボランティアを募り、要所で案内人を設置するのはどうか。また、飲食店など観光客の利用が多い店に対して、外国人向けのメニューや案内を作るサポート等の取組をしても良いのではないかと。         | インターネット |
| 15 | 東京都を中心とした国際会議が行われる環境の整備も一つの重要な施策にすると良い。特に国際会議では家族の同行も多いため、滞在中に家族が楽しめる多彩な取組を積極的に進める必要がある。   | インターネット |
| 16 | 現行計画(第3次港区観光振興ビジョン[後期計画])の取組状況の成果に関する記述がないまま、現状と課題の整理が記載されているため、第4次港区観光振興プランへの移行の根拠となるものがわかりづらい。   | インターネット |
| 17 | コロナ禍で改定した現行計画の目標に対する令和5年度の目標達成度やその検証が必要。また、各目標の令和5年度の目標値との乖離をどう捉えているのかを踏まえて、令和8年度の目標を検討すべきではないかと。また、新たな目標についても、次回調査から追加項目になるので現時点では実績なしだが、区の意志としての目標数字を記載すべき。  | インターネット |
| 18 | 重点事業の選定基準はあるのか。加重施策や具体的な強化策など検討されるのか。重点事業に位置付けた背景があるとイメージしやすい。   | インターネット |
| 19 | 取組においては、具体的な取組内容を1項目1つでも記載した方がよい。全取組が広義な表現で、掲げただけにならないよう施策の実施の有無や、進捗を確認できる記載がよいと思う。  | インターネット |
| 20 | 他区とも比較して、商業と観光振興、名産品育成などの施策が足りていない。港区の老舗や新たな観光素材に繋がる土産の開発や名産品の育成について取組強化が必要。港区は自力で販路拡大が図れる事業者も多いが、区としても観光客またはビジネスでの来訪者に向けて、区内の経済活動に繋がる施策を講じれば、来訪者の区内回遊率向上にも繋げていくことが可能だと思う。   | インターネット |
| 21 | 令和4年度に実施した観光動態基礎調査については、母数(n)や頻度を増やすべき。3年分の基本データと捉えるにはリスクがある。また、調査対象者が1年以内の来訪者とはいえ、調査実施時期により季節感などの印象が影響することもある。「戦略的な観光振興を支えるデータ基盤づくり」にもあるように、データ収集部分からの底上げに向けた具体的な計画が必要。調査項目(目的)によっても活用するデータの優劣もあるので、複数のデータの活用(組み合わせ)などで精度を高めていく必要がある。               | インターネット |
| 22 | 港区の多くの観光資源が体系立てて効率よく生かされていない。その中で、水辺の観光資源の活用については、他区に比べて明らかに遅れている。お台場の海は毎日多くの観光船でにぎわっているが、発着地点は港区ではなく品川区や中央区など隣区の棧橋となっている。港区の海の観光資源を生かす水上交通の拠点、田町駅に最も近いところに位置することが有効であり、田町駅近くの棧橋の活用は、港区の観光資源の活用という視点から見ると看過できない課題ではないだろうか。                           | インターネット |
| 23 | ナイトタイムエコノミーに関しては、観光ボランティアガイドとして橋りょうライトアップとコラボレーションした舟運ツアーしか実施できていない。クリスマスのイルミネーションやライトアップなども活用できないか。   | 会議      |
| 24 | 竹芝から水上バスで台場へ行く際、自転車を同乗させることができることをもっと周知できないか。水上バス、ちいばすなどの交通機関とスポットをつなぐ自転車での観光ルートがあると良い。  | 会議      |
| 25 | 自転車利用のツアーを検討する場合、道路交通法などの知識も必須となってくると思うか。機会があれば講習会などに参加したい。  | 会議      |
| 26 | 古川や坂道など地形に関するガイドツアーもあると良い。   | 会議      |